教育目標　すくすく　ぐんぐん　にこにこ

令和６年１月９日
第５４８号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　髙沢　ゆみか

未来に触れる

令和６年、平穏な毎日がいかに尊いものかを改めて痛感する年頭となりました。この度の能登半島地震により被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、厳しい寒さの中、心身ともに苦しい思いで過ごされている方々が、一日も早く少しでも安心できる環境になりますよう祈りながら、今自分にできることについて考え続けています。

先月、ある男性が大学生ぐらいの息子さんと一緒に本園を訪ねていらっしゃいました。お話を伺うと、約５０年前に園を修了された方で、しばらく離れていた北区にこの度戻ってきたので、懐かしくて来てみました、とのことでした。当時の担任の先生のお名前も教えてくださったのでたどってみると、昭和５０年度に修了された方であることが分かりました。修了写真をお見せすると「そうそう！これが〇〇先生で、これが私です」と、真っ先に先生を見付けて懐かしそうにおっしゃいました。そして息子さんも、幼稚園児の頃のお父様をうれしそうに眺めていました。このお二人の姿を見て、私もとても温かい気持ちになり、同時に、ふと、ある映画の場面を思い出しました。

『ブータン 山の教室』(2021 ブータン)という映画の中で、将来教師になりたいという少年が、理由を聞かれて「先生は未来に触れられる人だ」と答える場面があります。教師は子どもたちの内面に影響を与える存在なので、子どもたちを介して未来に触れることができるというのです。

私は、じゅうじょうなかはら幼稚園での生活や当時の先生のことを５０年近く記憶の奥に大切にしまっている方にお会いして、「未来に触れる」という台詞をふと思い出しながら、子どもたちと共に生活する教師としての責任とやりがいを改めて心に刻みました。新しい年も、これまで以上に一人一人に誠実に丁寧に向き合い、子どもたちがそれぞれの未来を自分で歩む力の芽を育むことができるよう、また、じゅうじょうなかはら幼稚園の生活がより充実した豊かなものになるよう、尽力してまいります。

今年、本園は創立５０周年を迎えます。これまで本園に関わってこられた方々が、園に託してきた思いを大切にしながら、節目を迎える準備をしていきたいと思います。また、今回来園された修了生のお話を、当時の先生方にいつかお伝えしたいと願っています。

皆様 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞

- 好きな遊びに自分から取り組む中で、思いを実現する楽しさや、やってみたらできたという喜びを感じる。
- 学級の友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを友達や教師に伝えたり、自分なりに伸び伸びと表現したりする楽しさを感じる。

＜さくら組＞

- 自分のめあてを意識しながら、試したり挑戦したりして、少しずつできるようになるうれしさを感じる。
- 友達と一緒に目的に向かって取り組む中で、考えたことを伝え合い、力を合わせる楽しさややり遂げる満足感を味わう。